



JAC北九だより

No. 101 (令和5年 第3号)

公益社団法人 日本山岳会 北九州支部

Kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club

発行：公益社団法人 日本山岳会北九州支部
 支部長 竹本 正幸
 事務局：福岡県北九州市小倉南区志徳1-1-29-104
 清家 幸三方
 TEL 自宅 093-963-2160
 携帯 090-8664-4411
 編集人：橋川 潤
 印刷：山口県山口市水の上町2-25
 内藤製本所



通常総会集合写真 (写真 榎俊一)

令和5年4月15日(土) 第24回通常総会

事務局 榎 俊 一

総会前に太田 満会員 (No13819) が講演を行った。

100名山達成後も200名山、300名山など超人的な登山家で一回の登山で10~20座、多い時は一回に30座を制覇するなどスーパーマン的登山家で驚きの連続であった。地元の福智山を1万回達成され現在81才と高齢ながら福智山も含め今も登山されておられ、高齢者にとっては非常に参考となる話であった。



太田満会員の講演の様子 (写真 竹本加代子)

令和5年4月15日(土)、午後3時から毎日西部会館7階第2号会議室にて、北九州支部の第24回通常総会が開催された。

まず、竹本副支部長による開会の辞に始まり、総務委員長より本日の総会出席者27人、委任状14人、計41人で会員総数57人に対し過半数に達したため総会は成立することが報告された。

その後、日向支部長から「昨年度はコロナの影響で多くの山行が中止になった。今年度はぜひ山行をしてほしい。コロナ終結に向かっており大いに活動していただきたい」との挨拶があった。

その後、日向支部長が議長に選出され、令和4年度の事業報告、収支決算報告、監査報告が承認され、令和5年度の役員改選(案)、事業計画(案)、収支予算(案)が審議され、全て承認可決された。

質疑応答では、新規役員の役割等や予算に対する質問等の多くの意見や質問が出た。

その後、丹下副支部長の閉会の辞の後、記念撮影を行い総会は終了した。

参加者 通常会員(27人)：園川陽造 日向祥剛 原広美 板倉健一 伊藤久次郎 井上禮子 馬場基介 磯野文雄 高島拓生 関口興洋 太田満

内藤正美 丹下洽 榑俊一 丹下香代子 大内喜代子
 竹本正幸 竹本加代子 赤瀬榮吉 縄田正芳
 塚本久嘉 町元里香 清家幸三 三宅明子 横山秀司
 野添勇 橋川潤
 支部友会員(1人) : 大山時彦



総会後に開かれた懇親会(写真 榑俊一)

令和 4 年 12 月 10 日(土)

忘年の集いと忘年登山

15174 榑手 修

◆ 忘年登山 このみやま 許斐山 (271 ㍎)

コースタイム : やまつばさ駐車場 11:50~西登山口 12:00~許斐山 12:40~尾立山 13:30~西登山口 14:20~やまつばさ駐車場 14:30

忘年の集いの時に美味しく飲むためにまず許斐山に登ります。私は集合場所の「やまつばさ」に早く着いたので近くの神社に行きました。すると、地域の方が5~6人集まって居られたので話をしていると神主さんが来られ、一緒にお祓いを受けませんかと地域の方に勧められお祓いを受けました。登山の安全を祈願しお神酒を頂きました。



許斐山忘年登山(写真 伊藤久次郎)

スタートは10分遅れましたが山頂には予定通りに到着し、天気も良く四塚連山(よつづかれんざん)「じょうやま城山・かなやま金山・こうだいしやま孔大寺山・ゆかわやま湯川山」玄界灘の大島・地島などがよく見え最高でした。一時間ほど集合写真や景色を楽しみ、ゆっくり休んで尾立山へ向かうグループと尾立山を通らないグループに別れ下山をしました。4日前にピンク色のテープを付けて回っていたのでテープを回収しながら下山しました。◎今回集合時間を変更(早く)したにもかかわらず、一部の方に連絡が行き届かず大変ご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

参加者 10 人 : 榑手修 (CL) 町元里香 (SL)
 伊藤久次郎 馬場基介 関口興洋 竹本正幸
 竹本加代子 清家幸三 支部友 : 小畑止 將口晋司

◆ 忘年の集い

日 時 : 令和 4 年 12 月 10 日(土) 17:00~19:00

場 所 : 宗像大丸 天然温泉やまつばさ(住所 : 宗像市大丸 474)

会 費 : 7,000 円

忘年登山(許斐山)から帰って来られた方や忘年の集いのみ出席の方それぞれに温泉に入浴後、17時に会場の部屋へ移動、コロナ対策で各席はパーティションで仕切られていましたが久しぶりの宴会で大変盛り上がりました。和食のコース料理でした。幹事さんの手際よい進行もありあっという間に時間が過ぎ終盤に人気者投票?が行われ私も手袋を頂きました。三宅さんお疲れ様でした。



忘年の集い(写真 榑俊一)

参加者 14 人 : 伊藤久次郎 馬場基介 高畠拓生
 関口興洋 榑俊一 大内喜代子 竹本正幸
 竹本加代子 榑手修 清家幸三 町元里香
 三宅明子 小畑止 大山時彦

令和 5 年 1 月 12 日 (木)

第 4 回指導員研修会の報告

15806 清家 幸三

日程 令和 5 年 1 月 12 日

場所 広島県 吉和冠山 (1339 ㍎)

内容 雪上歩行技術、ピバーク時の雪洞作り、ツエルトの使い方、スタンディングアックスビレイによるピッケルの使い方。

第 4 回は雪山訓練が主目的で昨年同様の吉和冠山で実施しました。



冠山山頂 (写真 清家幸三)

雪の状況から途中、アイゼンを使用した歩行訓練となりました(去年はワカン使用)。

8 時 00 分に登山口を出発して 11 時 15 分に頂上着。昼食後 11 時 45 分から雪洞作りを開始して 13 時 15 分までツエルトの使い方、スタンディングアックスビレイを実施しました。

まずは雪洞作りから始めました。昨年に引き続きの内容でしたので要領を得た動きができ、ピバーク時に役立てるものと思いました。

次のスタンディングアックスビレイでは、セカンドが転落時に加わる衝撃をなくすためにどうしたら良いかを試しました。ロープの伸縮性を瞬時に利用することが、軽減につながることを確認しました。ただ、瞬時に出来るためにはまだまだ繰り返して訓練をする必要があることも、今後の課題として認識しました。それと次に足元の支点を靴にできる限り近づけて、垂直にしっかり押さなければ横ブレが起きて止めることができないことを体験しました。他には支点を作るときのピッケルの設置方法を学びました。



スタンディングアックスビレイ (写真 清家幸三)

1 時間半の現地訓練をして 13 時 45 分に下山の途に就きました。途中、赤瀬さんが持参していたスノーシューを竹本加代子さんが試着し歩行の軽快さを体験されたので、私もその後に使わせてもらいました。ワカンよりは歩行の軽快さを感じ、踏み跡のない傾斜にはスノーシューは便利だと感じ取れた経験ができました。

15 時 50 分に下山を無事に終えました。同時に支部として最後の指導員研修会を締めくくりました。そしてこれからこれまでの経験をもとに新しくステップアップして行きます。ますます充実した会になりますようお願いすると同時に、関係各位へ心より御礼申し上げます。最後にこの会を担当してきた感想は「山の広大さと同じで勉強することの広大さを覚えました」。

参加者 5 人：清家幸三 (CL) 竹本正幸
竹本加代子 赤瀬榮吉 縄手修



木版画「九重連山」伊藤久次郎 作

登山入門講座を開催しました

—第1回 オリエンテーション—

13533 磯野 文雄

4月15日午前10時から、毎日新聞会館1階のルームにおいて、当会の新入会員を対象とした「登山入門講座 第1回オリエンテーション」(担当:磯野)を開催しました。

内容は、日本山岳会のオリエンテーションに加え、安全な登山をするために必要な自分自身の体力を知ること、登山計画書が安全登山の第一義であること、行為としての登山ばかりではなく自然や環境に目を向け登山をより豊かなものにする、などについてお話をしました。

私は、山を登っているときに「歩歩是道場」(ほほこれどうじょう)という禅語を思い出します。一歩一歩喘ぎながら登っていく、その行為自体が道場であり登山の正体なのだ、と自分自身に言い聞かせています。この禅語の本来の意味は、「素直な心を持っていれば、いつでも、どこでも修行の場になる」という意味らしいのですが、自分自身で解釈をしているのです。

登山の楽しみは、百人百様であり、楽しみ方も多様ですが登山入門講座において、基礎的な事柄を学び、自分なりに噛み砕いて解釈し、登山に活かしていただきたいと思っています。皆さんの登山がより安全なものとなりますよう祈っています。

参加者 12人 磯野文雄 榊俊一 竹本正幸
竹本加代子 赤瀬榮吉 町元里香 清家幸三
橋川潤 久保正志 将口晋司 綱川和幸 田和瀬修



木版画「ガクアジサイ」 伊藤久次郎 作

令和5年1月22日(日) 月例山行
(難所ヶ滝～三郡山)

残念ながら見る事が出来なかった

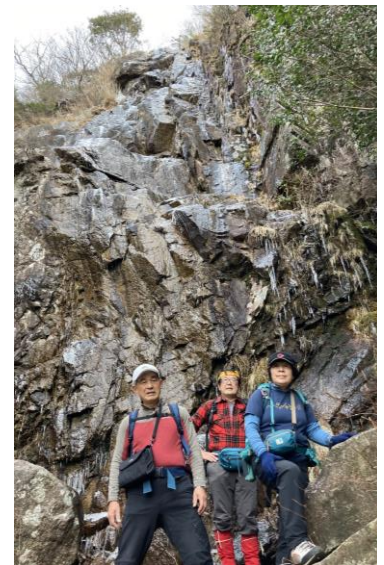
難所ヶ滝の大つらら

16562 三浦 利夫

コースタイム:昭和の森駐車場8:00～うさぎ道分岐9:00～難所ヶ滝9:25～縦走路分岐10:07～三郡山10:40～昼食11:30/11:50～縦走路分岐(河原谷のコル)12:00～うさぎ道分岐12:45～昭和の森駐車場13:38

参加者は、昭和の森駐車場に集合し装備を整え出発する。大つららを期待しつつも、気温が高めで不安を抱きながらの出発であった。出発してしばらくは車道～林道を行くコースで傾斜も緩く歩き易い。

林道を過ぎ登山道に入り徐々に高度を上げていく。うさぎ道の分岐を過ぎた頃より足下が悪く歩きづらくなるが、目的の難所ヶ滝が近づいてくる。はやる気持ち押さえ慎重に歩を進めて行く。急な登りを上がると難所ヶ滝に到着したが、大きな岩肌が見えており、期待していた大つららを見ることはできなかった。写真撮影を終え難所ヶ滝を後にして三郡山へ向かう。



難所ヶ滝 (写真 三浦利夫)

今回の山行では、目的としていた難所ヶ滝の大つららは見ることはできなかったが、橋川氏が樹木等植物に詳しく、カヤにも種類がありその見分け方等色々教えていただいたことにより興味を持ち、登山の違う楽しみ方を発見できた。登らせていただく山、自然の恵みに感謝をし、色々なことに興味を持ち、登山を楽しんでいきたい。ご参加いただきました竹本様ご夫妻、橋川様、ご協力の程ありがとうございました。無事山行を終えることができ、感謝を申し上げます。

参加者 4人:三浦利夫(CL) 竹本正幸
竹本加代子 橋川潤

令和 5 年 4 月 9 日(日) 月例山行

香春岳(三ノ岳) 508.6 ㍎

・牛斬山 579.8 ㍎
15710 町元 里香

午前 9 時に五徳越峠に集合して登山開始。絶好の登山日和。ここ数日は黄砂の影響で霞んでいる日が多かったが、今日は視界良好です。分岐を岩登りコースの方へ進み、樹林帯を少し歩くと岩登りが始まる。段差の高い岩や足場の悪いところがあり、気を付けながら三点確保で登る。小倉方面から金辺トンネルを抜け、右側に見えるのは面白い形の三ノ岳。山頂手前は石灰岩の奇岩が行く手を阻む。頂上からの竜ヶ鼻、障子ヶ岳、大坂山(飯岳山)の眺めは最高。下山はファミリーコースを選んだが、結構な急坂で滑らないように下った。



香春岳(三ノ岳) (写真 清家幸三)

三ノ岳は石灰岩の山で五徳峠を境に花崗閃緑岩に変わる牛斬山へと進む。ピークを繰り返しながらの辛い道程だが、わらびを見付けつつ歩くと足取りも軽やかになる。途中の日陰で軽い昼食。4月の風が心地よい。みんなでワイワイ楽しみながらの山行は本当に楽しい。牛斬峠に到着。牛斬峠から牛斬山山頂にかけての稜線上に手切城という山城があったと言われています。牛斬山の名前の由来は「手切」が「牛斬」となった説が濃厚とのこと。山頂に到着し、少し進んだ国見岩展望所からは削られた一ノ岳を見る事ができた。

今回参加の皆さまから「コロナ禍で会えなかったみんなと久しぶりの本当に楽しい山行でした」「春のうららかな日差しの中で、石灰岩の山、花崗岩の山を堪能でき、小倉断層の話も聞いて有意義な山行でした」「三ノ岳は岩が大きくて登り甲斐のある楽しい山でした」「シュンランに出会えてよかった」

「地図やガイドブックなどを見て、ずっとあこがれていた山に来られて最高でした」などの感想を頂きました。私自身も、一人で登る山も自由に楽しいけれど、みんなと登る山は本当に楽しすぎるなど改めて実感した 1 日でした。



牛斬山 (写真 清家幸三)

参加者 12 人：奥田スマ子(CL) 大内喜代子
竹本正幸 竹本加代子 森本信子 縄手修
町元里香 清家幸三 中畑智子 横山秀司
藤原玲子 大山時彦

令和 5 年 4 月 23 日(日) 月例山行
(雷山・井原山)

雷山・井原山縦走の
満開コバノミツバツツジに感動!!
16601 藤原 玲子

コースタイム：雷山観音登山口 8:25～滝 8:56
～上宮 9:40/9:50～雷山 10:15/10:30
～富士山 10:55/11:00～本富士山 11:15/11:25
～井原山<昼食> 12:00/12:35
～本富士山 13:05/13:15～富士山 13:30
～雷山 14:00/14:10～上宮 14:35～滝 15:10
～雷山登山口 15:45

朝 4 時 30 分に杵築を出発し、雷山・井原山の縦走に参加しました。北九州支部に入会間際の頃、井原山の「キツネノカミソリ」の名前に興味が湧いて、どんな花の姿をしているか見たくて参加した。

今回は、満開のコバノミツバツツジを見たくて参加させて頂きました。コバノミツバツツジ(小葉三葉躑躅)は、ミツバツツジに比べて葉が多少小さい

ので、その名が付けられたそうです。

8時、雷山観音登山口駐車場から出発。まずは林道を歩き、シャガが咲く沢沿いの道を行くと清賀の滝があり、マイナスイオンを感じながら休憩。雷神社上宮で安全祈願をし、雷山山頂を目指します。樹林帯を抜けると山頂には、灰色と黒の縦縞が入った大きな変成岩が有り、広くて見晴らしの良い山頂でした。



雷山山頂 (写真 横山秀司)

いよいよ、これから楽しい富士山、本富士山、井原山への縦走路が始まります。雷山から井原山山頂への縦走路は、ほとんど高低差が少なく、時折、笹原を通り景色も見ながら、快適な尾根道で歩きやすくコバノミツバツツジが群生しており、それに、青空と、眩い新緑が映え、満開のピンク色のコバノミツバツツジとのコントラストが綺麗で最高でした。天気にも恵まれ、玄界灘を一望でき、満開のコバノミツバツツジも満喫でき、とても気持ちの良い充実した大満足の山行でした。



井原山山頂 (写真 横山秀司)

参加者8人：三浦利夫 (CL) 竹本正幸
竹本加代子 縄手修 町元里香 藤原玲子
横山秀司 大山時彦

令和5年1月7日(土) ポレポレ山行

新春三社詣り

14264 丹下 洽

JR門司駅発9時。市街地を抜け9時30分戸上神社着。入り口の石の鳥居に、久留米藩船屋敷衆寄贈と彫ってある。久留米藩は小倉藩と親密な関係にあり、小森江に船屋敷を構え1864年第一次長州征伐の折、屋敷を返還し、第二次長州征伐の時は幕府方として長州と戦っていた。以前、下関の紅石山(ベニシヤマ68.1m)に三角点の調査に行った折、山頂近くで高杉晋作の盟友で奇兵隊の支援に力を尽くした白石正一郎の墓の傍に真木和泉の墓があった。



戸上神社 (写真 伊藤久次郎)

真木和泉は尊王攘夷の論客で久留米藩は佐幕で、同じ久留米藩の真木は尊皇で、白石の傍に墓があるのは不思議な想いがある。又、石の鳥居の側には神仏習合の時代「満隆寺」があったが、明治の神仏分離令で今は大師堂があり往時が偲ばれ、朱印帳には「弘法大師」と印されている。



淡島神社 (写真 伊藤久次郎)

一時間ほどで「淡島神社」に到る。境内の岩にはシュメール文字が刻まれており、「大地の母なる神」と解読できるという。シュメール文字は地中海の海洋民族が日本に渡来したことの証明といわれ、阿蘇の清栄山、押土石の丘、国東半島、山口の角島にも同様のものがあり、日・月・星・海・船等海に関する文字が多いとされるが、一方否定的な意見も多く、果たして真偽の程は・・・？ 古代のロマンとしては面白いかも・・・！！ 又、境内には「野口探花」氏の句碑がある。氏は風師山清滝登山道にある「高浜虚子」の「風師山 梅ありと聞く 登ぼらばや」の句碑設置に尽力された。

私事ですぐ私共が結婚した際、私の叔父が詠んでくれた句を添削して下さったのが探花氏で「菊みごとそだてしひとのしのばるる」菊は妻、そだてし人は妻の母。そして、縁の薄かった私の母。この社を訪れる度に今は亡き二人の母を偲びます。



柳の御所 (写真 丹下香代子)

更に「柳の御所」迄一時間。この社は源平合戦の折、「安徳天皇」が御所を構え「柳」はこの地名、かつては「内裏」と称されていたが、小笠原侯が大里と改めた。ここには、大里郷土資料館があり、かつて「ポレポレ山行」の折、長崎街道、門司往還を歩いた折、見学しました。

来年の初詣は・・・鬼がわらっているでしょうか？

参加者12人：原広美 板倉健一 伊藤久次郎
馬場基介 関口興洋 丹下洽 丹下香代子 大内喜代子
縄田正芳 立石シマ子 田中眞一 田中優子



ヤマボウシ (写真 橋川潤)

令和5年2月4日(土) ポレポレ山行 山中に眠る明治期の要塞跡を探訪…

17022 折野道法

入会して初めて JAC 北九州支部のポレポレ山行に、小倉南区の高蔵山(357 ㍎)の高倉堡壘(防塁、とりで)跡の探訪に行ってきた。今まで稜線の足立～戸ノ上を縦走する企救半島トレイルコースは何度か歩いたが、麓の高蔵山・高倉堡壘跡の散策ルートは全く思いつかなかった。

関門海峡を望む足立山系には明治期の要塞跡が多く遺っている。その中でも森の奥深くに、当時のまま遺っている高蔵山堡壘は、下関要塞のひとつとして1900年から陸軍の管轄下で終戦を迎えた。

そんな古の森に眠る戦争遺跡の旧陸軍林道を山屋の大先輩の方々と歩く、これぞポレポレ山行の醍醐味であろうと思った次第でした。

ポレポレとはスワヒリ語で「ゆっくり・ゆっくり」、ほかには韓国語で「チョンチョニ・チョンチョニ」、タイ語で「ラワン・ラワン」、ネパール語で「ピスタリ・ピスタリ」etc…と山歩きは何処も同じだ。



高蔵山堡壘跡 (写真 折野道法)

今日のルートは、スーパー・アルク小倉東店に10:00 集合し車移動、10:30 高蔵山森林公園を出発、高蔵の雫という水場で休憩を挟み、人馬が往来した緩やかな登山道をゆっくり歩く～11:30 高蔵山山頂分岐のもみじ広場～12:00 高倉堡壘跡を散策～14:00 高蔵山森林公園に無事に下山し、解散後に遅い昼食をとった。

時間 3.5時間 距離 6.8 ㍎ 累積標高 440 ㍎

参加者11人：田中眞一 (CL) 丹下洽 (SL)
原広美 伊藤久次郎 馬場基介 関口興洋 丹下香代子
縄田正芳 立石シマ子 田中陽子 折野道法

令和5年3月24日(金) ポレポレ山行

火の山観桜ウォーク

14264 丹下 洽

令和5年4月13日(木) ポレポレ山行

「江汐公園 つつじ鑑賞」

11990 原 広美

ロープウェイ壇ノ浦駅発。トルコチューリップが咲き始めている。桜は咲始め、新緑は美しい。山がほほえんでいます。山頂(268.2 ㍎)からの眺めは私どもがいつも見慣れている門司側のそれとは一味ちがっており、これまた一興。

火の山で特筆すべきは、頂上にある三等三角点です。「日本山岳会創立100周年記念事業・日本列島中央分水嶺踏査記録」「ふみあと」に原広美会員、井上佑OB会員の報告に詳細が述べられている。4回に及ぶ踏査の末「地下34㍎の柵に収められて、コンクリートの蓋が被せられており、落葉に隠れ分からなかった」と記されています。紅石山(ベニシヤマ)も同様。三角点には物語があります。「ふみあと」は残部が若干あります。購入希望者は役員まで、定価1,000円(割引も可・・・?)



火の山 (写真 折野道法)

提案のあった「企救アルプス(仮称)」に、以前ポレポレ山行の候補にもあった「下関要塞(下関一北九州)」「企救自然歩道」「中央分水嶺」を「点と線」でむすんでみては。支部創立30周年記念行事として歩いてみては・・・。要塞地帯は立ち入りが規制されていたため、自然が残っており思わぬ発見がある。

「つわものどもが夢のあと」・・・。

参加者 9人：原広美 板倉健一 井上禮子
関口興洋 丹下洽 丹下香代子 大内喜代子
太郎良嘉親 折野道法

山陽小野田市江汐公園10時集合でしたが、広い駐車場には山岳会の人たちは誰も居なくて電話で連絡をしたところ第2駐車場にすでに皆さん集合でした。リーダーの縄田さんから今日は外周のロングコースを歩くと説明がありました。10:00 管理棟スタート。足元は歩きやすいのですが、ところどころコバノミツバツツジのトンネルの山道に入ります。山全体が大木の満開のツツジに感動しました。皆さんについていかねばならず感動ばかりでははいられません。おなかもすいて歩き疲れたころ御影石のテーブルとベンチがあり、12:00 昼食。12:40 出発。四季の丘→あじさい園→自由広場→江汐大橋を渡って第2駐車場14:30着でした。



江汐公園 (写真 丹下香代子)

もう一つの本日の計画である宇部市の名刹である「宗麟寺」へ移動。県下一の古い庭園だけあって庭を眺めながら心静かに今日の一日を振り返ることができました。

参加者6人：縄田正芳(CL) 原広美 関口興洋
丹下洽 丹下香代子 太郎良嘉親



コバノミツバツツジ (写真 橋川潤)

令和5年5月21日(日) ポレポレ山行
求菩提山(782 禰)～修験道巡り

15505 清家 智絵

9:00 道の駅おこしかけ集合、9:40 座主坊園地駐車場、9:50 出発、厳かさと歴史を感じる山道と、苔むした石階段を上がり、岩屋坊、鬼神社、丹下さんの歴史の話に耳を傾け、ポレポレと歩くこと45分。木漏れ日とさわやかな風。神秘的なもののけの世界を感じ、10:35 いざ鬼の階段(850 段!)へ。25分で求菩提山、山頂(国玉神社上宮)に上がる。到着 11:00、ここで45分の昼休憩。11:45 出発。



求菩提山 (写真 縄田正芳)

胎蔵界護摩場跡に向かい、ゆったりと五窟巡りへ。大日窟、左手には荒々しくなる絶壁と苔むした岩、普賢の瀧、そそり立つ岸壁、普賢窟、多門窟と幻想的な世界を感じながら歩き・吉祥窟、阿弥陀窟、近づくにつれひんやり感じる氷室跡。山水が流れ黒光りする岩肌の禊場跡をゆっくり歩き、13:30 座主坊園地駐車場着。

資料館へ移動。ここでやっとヒメシャガに会い、上を見ればヒコサンヒメシャラも。その後、岩洞窟へ移動。岩に描かれた上半身が人、下半身が鳥の迦陵頻伽を見学し 15:00 解散。

久しぶりの求菩提山山行。日常と違う神秘的なもののけの世界を歩き、リフレッシュ出来ました。里さん、井上さん、お疲れさまでした。ありがとうございました。

参加者9人：里耕三郎(CL) 原広美 井上禮子
丹下洽 丹下香代子 大内喜代子 縄田正芳
清家智絵 太郎良嘉親

2月10日(金)～2月13日(月) 個人山行

大山寺・元谷付近の
スノーシューによる体験・散策

北九542 綱川 和幸

2023年2月10日に磯野様指導の元に、中畑様、私の3人で大山にスノーシュー体験に行ってきました。



大山でのスノーシュー体験 (写真 綱川和幸)

当日、春のように暖かな快晴に恵まれました。スノーシューの集合場所に行き、インストラクターから説明を受けて散策にでかけました。大山のブナ林は日本有数だそうです。そんな中、幹の色と横線、葉っぱの形、などからブナの見分け方を教わりました。上を見ると宿り木があちこちの木々に宿っていました。普段上を見ていないのが自分で分かりました。だいたい普段から左右も前も見えていないのですが、歩いているうちに雪にハマってしまい、スノーシューが引っかかってしまい、なんとか脱出して歩き出したのですが、その時スノーシューが外れていたのを気が付かずに歩いてしまいました。

前にもアイゼンが外れたのを気が付かずにしばらく歩いてしまい、探しに行ったことを思い出しました。もう少ししっかりしないとマズイです。

大山の歴史をインストラクターから学び、牛売買の成り立ちを聞きながら牛の銅像の鼻筋を撫でさせてもらいました。なにか良いことがあるようです。

スノーシューは普段入れないような場所へ行けるし、少し沈みながら歩くのはとても気持ちの良いものでした。金門の前のコーヒータイトで頂いた甘いコーヒーがとても美味かったです。

次の日は私がリーダーでワカンの体験をさせていただきました。

寂静山に 3 人で登りました。少し休憩をして元谷の近くまで道を設定したとおりに正しく歩く練習をしました。5回は道間違えをしまい、もっとよく地形を見なければ駄目だと勉強させていただきました。



大山北壁 (写真 綱川和幸)

滞在中の 2 日間はとても良い天気恵まれ、美しい大山の全容を見ることが出来てとてもラッキーでした。

参加者 3 人： 磯野文雄 中畑智子 綱川和幸

令和 5 年 3 月 3 日(金)～7 日(火)
個人山行(北八ヶ岳)
念願叶ってやって来ました
「3 月の北八ヶ岳」
14853 竹本加代子

コースタイム：

- 3 日 新門司港～泉大津港(阪九フェリー)
4 日 泉大津港～<北八ヶ岳ロープウェイ>～縞枯山荘(素泊り)※坪庭散策
5 日 縞枯山荘 7：15～雨池峠 7：21～縞枯山 8：00～茶臼山 8：50/9：00～中小場 9：20/9：37～麦草峠 10：00/10：10～白駒池 11：00/11：15～高見石小屋 11：50/12：27～中山 13：46/13：58～中山峠 14：20～黒百合ヒュッテ 14：27
6 日 黒百合ヒュッテ 6：40～中山峠 6：47～東天狗 8：00/8：25～西天狗 8：40/9：00～東天狗 9：25～黒百合ヒュッテ 10：

10/11：00～渋の湯(入浴) 12：30/13：30<タクシー> 14：00～北八ヶ岳ロープウェイ 14：45～多賀 SA 17：10(夕食・仮眠)

7 日 多賀 SA 1：00～帰北九 9：00

3日、積雪を期待しながらスキーヤーに交じって、北八ヶ岳ロープウェイ山麓駅から一気に約 500 ㍎の高度をかせぐ。15分ほど歩いて縞枯山荘に到着。この小屋は冬季自炊である。水も有料(500 ㍎は無料)各自鍋用を含め持参する。



縞枯山荘にて(写真 町元里香)

4 日、縞枯山、茶臼山とアップダウンを繰り返しシラビソの林の中を行く。トレースがしっかり付いているので安心だ。しかし、トレースから一歩外れると腰のあたりまで埋まり抜け出すのに一苦労。途中、冬靴に付けたアイゼンで足が重い。麦草峠には国道 299 号のメルヘン街道が横切り冬季は通行止めである。スノーシューを楽しむ人々を横目に白駒池へ向かう。氷結した白駒池を楽しむ余裕はなく高見石小屋への急登を喘ぎながら登り、お目当ての小屋名物の揚げパンとコケモモのホットジュースに一息つく。途中渋の湯からの登山者に多く会う。渋の湯から高見石小屋経由で周回コースの日帰り山行と思われる。関東方面からは日帰りが可能なんて羨ましい。岩稜の南八ヶ岳とは違い今日一日は樹林帯歩きを楽しむ。夏はコケむした林の中を歩くのだろう。コケの標記が多くある。黒百合ヒュッテに到着後はいつもの祝杯である。これが明日へのエネルギーになると信じている。

5日、東天狗、西天狗を目指す。昨夜、降っていた雪を思うとトレースが心配になったが、大学のワンゲル部 10 人がすでに出発をしていたので心配は消えていた。ストックをピッケルに替えて天狗岳を目指す。風も冷たく昨日とは打って変わって身がしみる。山頂へは 2 時間弱で到着。流れる雲の切れ間から、爆裂火口の硫黄岳、横岳、赤岳、阿弥陀のシャッターチャンスを狙う。あれは根石小屋？あれは根石岳？寒さの中の楽しいひととき。西天狗を往復し下山。久しぶりの雪山を堪能した。



天狗岳から眺めた赤岳(写真 竹本正幸)

天候にも恵まれ、北ア、中央ア、南ア、御嶽山、浅間山の白い峰々は目に焼き付けられた。楽しい山中3日の山旅でした。

参加者3人： 竹本正幸 町元里香 竹本加代子

令和5年5月4日(木)～6日(土)
個人山行(唐松岳)

残雪の八方尾根

14853 竹本加代子

コースタイム：

- 4日 八方アルペンライン 15:00(Gondola～リフト2回) 八方池山荘 15:30
5日 八方池山荘 4:00～八方山ケルン(石神井ケルン) 4:31～第2ケルン 4:40～八方ケルン(朝食弁当) 5:00/5:15～第3ケルン(八方池) 5:34～下の樺 5:55～上の樺 6:55～丸山ケルン 7:20/7:35～唐松岳山頂山荘(トイレ休憩) 8:40/9:05～唐松岳 9:30/10:00～<山荘分岐>～丸山ケルン 11:10～第3ケルン 12:10～八方ケルン 12:43～第2ケルン 12:50～八方池山荘 13:20

穏やかでないGW後半の天気予報で、山行を半分諦めかけていた。「天気は変わる！」のひと言に期待を寄せる。日本列島を雨雲が覆いつくしていた5日の予報が高気圧の張り出しで雨雲が南下できない。

「持ちこたえそうだ！ 晴れだ！ ラッキー！」4日の高速の移動は流れつつも渋滞で何とか15時最終の Gondolaに間に合う。Gondola、リフト2回乗り継ぎ30分で八方池山荘に到着。

スキー場の雪はなくCLOSE。コースには濃いピンクのショウジョバカマ、カタクリ、ふきのとうが芽吹き八方尾根に春の訪れを感じた。

5日は4時に出発。寒くないので気温は高い。雪はゆるんでいる。期待に反してはいるがスカイプールの青空に向かってケルンを数えつつ高度をかせぐ。第2ケルンでは日の出にしばし身をゆだねる。第3ケルンでは朝日に照らし出される白馬三山と不帰ノ嶮に心を奪われる。下の樺までは傾斜も緩やか

だ。上の樺から丸山は急登であり、緩んだ雪はアイゼンも効きづらく体力が消耗し息も上がる。丸山を過ぎ、山荘直前のトラバースは片側が切れ落ちていてヒヤリとする所であった。



白馬三山(写真 竹本加代子)

標高1400㍎の兔平にはハイマツが自生しているのに、2000㍎付近の下の樺にはダケカンバの太く背の高い樹木が現れ植生の逆転現象が見られた。これは、八方尾根の上部に蛇紋岩が少ないから

だと言われている。本当に良い天気で八方尾根からは、後立山の峰々が、ず～っと飛び込んでくる。爺ヶ岳、鹿島槍ヶ岳、五竜岳、白馬三山、南八ヶ岳、妙高や戸隠方面など最高の眺望に一喜一憂する。

八方尾根から眺める双耳峰の鹿島槍ヶ岳は北峰と南峰が切れ落ちていてカッコいい！唐松岳への稜線は一変して強風にさらされる。防寒対策をして唐松岳山頂へ向かう。我々だけの山頂で劔岳がドカ～ン！これが見たかったのだ。メンバー4人で共感共有する。

第3ケルン(バックは不帰ノ嶮)
(写真 竹本加代子)



唐松岳からの残雪の剣岳 (写真 竹本加代子)

9 時間 22 分の記憶に残る山行を心に刻むことのできた残雪の山旅となった。

参加者：竹本正幸 三浦利夫 清家幸三 竹本加代子

令和 5 年 2 月 21 日 ちょっと昔のいい話

「輪かんじき」の話

13533 磯野 文雄

「折れた！」と思った。

かれこれ 40 年ほど使ったであろうか。芦峯寺で買ったワカンが、折れた。使用後は、亜麻仁油を塗りメンテナンスしてきたが、雪上から、大山寺のコンクリートの参道に降りた時に、パキと小さな音を足裏が感じた。

「よし！」と、覚悟しよう。

参道から見る三鉢峰が、こんなに綺麗なのだから。



折れた芦峯寺流の輪かんじき (写真 磯野文雄)

そのように FACEBOOK に投稿したところ、当会の大先輩、日本山岳会北九州支部、永年会員、会員番号 5998 番の松野賢珠様から、次のような嬉しい返信をいただきました。小説「氷壁」(ナイロンザイル事件)のこと、先日亡くなられた石原國利様の

こと、当支部会員の中部ヒンズークシュ山群第 2 登のこと、などさまざまなエピソードを知ることができましたので、紹介いたします。

これは芦峯寺流の「輪かんじき」です。昭和 32 年に朝日新聞に井上靖の山岳小説『氷壁』が連載されました。大反響を起し登山ブームが沸き起こりました。作品の主題はナイロンザイルが切断された事故でした。米国から入手されたと思いますが、ロッククライマーに使われるようになりました。伸縮性と耐切断能力の高さが麻の 12 ミリに比べて格段に高かったのです。そのナイロンザイルが墜落のショックで切断したのです。ザイルパーティーの小坂が墜死し魚津恭太が生き残り故意に切断したのではないかという疑念が出るほどでした。苦しむ魚津恭太が読者を引き付けました。実際に起こった冬季の前穂高東壁でのザイル切断の事故がモデルになっていま



芦峯寺流の輪かんじき (写真 磯野文雄)

した。なんとそのモデルの主人公は直方市の或る登山家でした。それから私も登山に熱中し教員の夏休みの 30 日以上は北アルプスに入りっぱなしでした。その頃に使ったのが芦峯の輪かんじきでした。さらに凍結した急傾斜では滑落防止に 8 本爪の鉄のアイゼンを重ねて縛り付けて雪山を登攀していました。磯野さんの写真を見て懐かしくて胸が高鳴りました。芦峯の輪かんじきは山岳連盟や高体連登山部の冬山講習会では必須の装具でした。1972 年には福岡高体連登山部として、中部ヒンズークシュのホッジャムハンマド山群のコーイピウ 5793 麓、コーイロボガン 5723 麓の 2 峰の初登攀を目指して 6 月から 7 月まで 2 ヶ月間遠征しました。隊長竹内康、登攀隊長佐野省三、隊員松野賢珠、隊員足達敏

則、松本英則(久留米大学医師、同山岳 OB、医療、医療装備、現地住民診療)以上 5 人の遠征隊でした。アフガニスタンにソ連が侵攻する 2 年前でした。竹内、佐野、足達の 3 人は故人となりました。松本ドクターと松野の二人が生存中です。初登攀はドイツ隊に数日前に登られて第二登になりました。なお輪かんじきは積雪の多い日本で猟師に使われていたもので、日本の冬山登山にも使われました。懐かしい思い出を磯野さんに頂戴しました。感謝します。(会員番号 5998 番松野賢珠)

さて、「芦峯寺」は、富山県中新川郡立山町芦峯寺であり、地名である。立山連峰の入り口である芦峯寺は、神仏習合の形態であった「雄山神社中宮祈願殿」の寺名であり、芦峯寺の雄山神社の横には宿坊がある。今夏、上高地から足を延ばし、再び、訪ねてみようと思います。もちろん、「わかん」を携えて。

ちょっと昔の山歩き

縄文杉までらくらくトレッキング

17031 橋川 潤

初めて縄文杉を訪れたのは 1969 年 8 月 4 日、トレッキングという言葉もなかった頃です。当時の写真が見つかりましたので記憶をたどってみました。

当時中学 3 年生の私は父に連れられ妹とともに屋久島にわたり、安房の旅館に泊まりました。翌朝、安房の町はずれにある森林軌道の起点からトロッコに乗り込み出発です。機関車が数台のトロッコを引っ張りぐいぐいとしかもゆっくりと登っていきます。



トロッコ列車に皆と乗る (写真 橋川潤)

勾配がきつく機関車の動輪が空転したときは、用意された砂をレールに敷き砂煙をまきながら登っていきました。途中、人々が生活している小杉谷集落前を通り、下車地点の大株歩道入口までおよそ 30 数歩、2 時間近くかかったでしょうか。

そこからはウィルソン株、大王スギを経て縄文杉まで行き、今では近づくこともできない根元に立ち幹にも触れることができました。

帰りは同じところから安房まで乗車させてもらいました。下りのトロッコは一台ずつ作業員がブレーキをかけながら無動力で下っていきます。しかも直径が 1~2 寸もある大きなスギの丸太の上に私はチョココンと座るのです。途中、トロッコに驚き飛び出したチョウを狙って捕虫網を振り回したのは言うまでもありません。

少し調べてみました。営林署(現森林管理署)は登山客、観光客に対し事故が起きても署は「危険負担に

応じない(乗客の自己責任)」との便乗諒解書を発行し、安房小杉谷間或いは石塚間(楠川分れから南西に延びる南沢右岸にも森林軌道「石塚線」があったそうです。)を有料でトロッコに乗せていたようです。当時は小杉谷~高塚~宮之浦岳



縄文杉(写真 橋川潤)

~花之江川~南沢~小杉谷の周回コースが利用でき、小杉谷は登山者の重要な拠点であったとのこと。また縄文杉(最初は大岩杉と呼んでいた)は 1966 年に地元役場職員によって発見され、ずっと下方を通っていた大株歩道は縄文杉の近くまでルート変更されるとともに、観光客から縄文杉がよく見えるように周囲の樹木は伐採されたそうです。

そのころと前後して自然保護のうねりが高まり、屋久スギの伐採は縮小され、伐採作業をする人たち

とその家族が暮らしていた小杉谷集落は 1970 年 8 月に閉鎖されています。

それにしても、小杉谷からさらに先の大株歩道入口までの往復をトロッコに乗せてもらったのは、何か特別な計らいをしてもらったような気がします。当時は、安全装置のない丸太の上に人を乗せて運行するというおらかな時代であったのでしょうか。1970 年以前に屋久島を訪れた方はトロッコに乗車したことがあるかもしれませんが、今となってはもうその体験はかないません。懐かしい思い出です。



ナツツバキ (写真 橋川潤)

追悼 「歳弘逸郎さんを偲んで」

14853 竹本加代子

カメラを向けると「歳弘スマイル」の笑顔のあなたが、いつもそこにいた。山に自然に人に感動する詩人のあなたが、いつもそこにいた。若者に登山の楽しみを教えたいと山行にお誘いするあなたが、いつもそこにいた。

2015 年支部 15 周年記念の縦走登山。遠見尾根から五竜岳、鹿島槍ヶ岳、爺ヶ岳、針ノ木岳とご一緒でき、針ノ木岳直下の急登を喘ぎ喘ぎ登り、みんなでハイタッチ。感動を分かち合ったのが始まりです。

2016 年北海道の大雪山からトムラウシ山までの 45 時間のロングコース。裏旭岳の雪渓で子供のようにはしゃいで尻セードをする歳弘さんを忘れません。

2017 年歳弘さんとの縦走登山も 3 年目。飯豊山、



全国支部懇の歳弘さん

大日岳、梅花皮岳、北俣岳と共に歩いて歩いた思い出のコース忘れません。

2018 年 7 月北海道のはるかなる大地を共に 5 座を巡りました。(大雪山・斜里岳・幌尻岳・雌阿寒岳・羅臼岳) ヒグマにおびえたり、幌尻岳に登頂するためには越えねばならない額平川の 10 を越える渡渉もなんのその

楽しんでいたことを忘れません。9 月には不帰ノ嶽を目指しましたが雨で白馬岳から白馬大池、梅池に変更になりました。でも楽しかった。いつも明るい歳弘さんがいたから。

2019 年縦走登山ではありませんが越後駒ヶ岳・平ヶ岳へ。深田久弥の「山の茜をかえりみて、1 つの山を終わりけり 何の俘(とりこ)のわが心 早も急(せ)かるる 次の山」見事にそらんじた詩人の歳弘さんを忘れません。

2020 年コロナ禍で県外移動の自粛に活動は休止。

2021 年 5 月四国の東赤石山から西赤石山縦走。ちょっと辛そうな時も見られましたが立ち休憩を繰り返しながら登り切りました。尾根の岩場歩きは楽しそうでした。日浦に下山後はデポしていた自転車

で筏津登山口まで車の回収に走った歳弘さん。笑顔で元気で

7 月の白根三山縦走には登らないけど思い

出の地(広河原)まで行くと参加。病気でたたかいつつも笑顔で楽しんでいました。



R4年5月月例山行(若杉山)



R4年7月最後の英彦山トイレ清掃

2022 年 5 月月例山行「若杉山」6 月「国見岩の岩登り」7 月英彦山改修工事で最後になった「英彦山清掃登山」に遅れながらも登ってこられました。相当辛かったのだ

と思いました。でも、明るく笑顔の歳弘さんでした。

ふれあえる笑顔はもうありませんが思い出というプレゼントを残してくれました。私達はそれぞれの思い出を大切に山が大好きだった彼を偲び山に登りましょう。

合掌

退会された米田教子様のお礼の手紙

春らしい季節となり、草花が香る頃となりましたが皆様お元気にお過ごしでしょうか。

この度、私の都合で大変申し訳ありませんが長らく在籍させていただきまして、日本山岳会北九州支部を退籍させていただく事となりました。

私といたしましては、皆様から頂戴しました恩に報いる事なく退会してはうのはとても心苦しく思います。皆様の一人ひとりの笑顔や優しさ、

山々に立ち向かう凜とした心気力の姿勢は、私の人生の中でとても大きな指針となりました。共に過ごさせていただいた時間は、決してお金では手に入らない本当の宝物です。

こんな私に本当に良くしていただいた誠意に有り難うございました。これからも皆様の活躍を心より祈念いたしております。

どうぞお元気にお過ごし下さい。

令和 5 年 4 月 15 日 米田 教子

山行・行事のお知らせ

— 8 月 —

● 九州 5 支部懇談会

期 日 8 月 5 日(土)～6 日(日)

場 所 法華院温泉山荘、くじゅう山

会 費 約 15,000 円

内 容 講演会、懇親会他

池の小屋近くの慰霊碑にて安全祈願祭

申込み 締め切りしました。



木版画「ミヤマキリシマ」伊藤久次郎 作

— 9 月 —

● 特別山行のおしらせ

南八ヶ岳周回(硫黄岳 2741.9 ㍎ 横岳 2830 ㍎
赤岳 2899.4 ㍎)

～八ヶ岳縦走の核心部分を歩く
極上コースを歩きましょう～

期 日 9 月 1 日(金)～9 月 4 日(月)

集 合 9 月 1 日(金)午後 15 時半 小倉駅

行 程 美濃戸口～赤岳鉱泉(宿泊)～硫黄岳～横
岳～赤岳(赤岳頂上山荘宿泊)～行者小屋
～美濃戸口

費 用 約 6 万円

問合せ・申込み 町元里香 Tel.090-572-6939

(SMS 可) ☒yunae.runa@gmail.com

※詳しい内容、質問などは直接お問合せ下さい。

締め切り 7 月 27 日(木)

※参加希望の方は 7 月 16 日特別山行訓練に参加を
お願いします。

● 陶が岳岩登り

期 日 9 月 10 日(日)

集 合 陶が岳登山口 8 時 30 分

場 所 陶が岳岩場 山口市

行 程 グレンデまで移動 30 分その後練習
(9:30～14:00)

個人装備 一般山行装備、ヘルメット、ハーネス、
カラビナ、スリング、エイトカン、確保
器(ATC)クライミングシューズ、
※装備がそろわない方はご相談ください。

共同装備 クライミングロープ(50㍎×2本、
30㍎×1本)

申し込み 竹本正幸 Tel.090-6739-9251

☒takemoto.masayuki@white.plala.or.jp

※申し込みは SMS 又はメールでお願いします。

※移動手段はご相談ください。

締め切り 8 月 26 日(土)

● 月例山行 韓国岳(1700.1 ㍎)

・高千穂峰(1573.6 ㍎)

～いつかまた縦走できる日を願って歩きましょう～

期 日 9 月 17 日(日)～18 日(月・祝)

集 合 9 月 17 日(日)午前 9 時 45 分

えびのエコミュージアムセンター駐車場

行 程

9/17 10:00 韓国岳登山口～5 合目休憩所～
韓国岳～韓国岳避難小屋～15:00 つつ
じヶ丘登山口

9/18 7:30 高千穂河原ビジターセンター駐車
場～御鉢～高千穂峰～御鉢～12:00 高千
穂河原ビジターセンター駐車場

申込み・問合せ 町元里香 TEL090-9572-6939
(SMS 可) ☒yunae.runa@gmail.com

締切り 8 月 15 日(火)

※宿泊はえびの高原キャンプ村を予定しています
ロッジ、テント泊どちらでも可能です。

※交通手段はご相談ください。

※詳しい内容は参加者に後日お知らせします。

15 日(朝食・テント撤収)～西の原登山口
移動～男三瓶～女三瓶～子三瓶～孫
三瓶～西の原登山口

コースタイム 5 時間

装 備 テント泊装備一般 日帰り装備一般

申し込み 竹本加代子

TEL090-9253-1260 (SMS 可)

☒takemoto.masayuki@white.plala.or.jp

締切り 8 月 31 日(木)

※ 装備(テント等)・移動(車)ご相談下さい。

● 広島支部交流会

期日、山行等詳細は未定

● 全国支部懇談会

期 日 9 月 23 日(土)～24 日(日)

場 所 水上温泉、谷川岳周辺

会 費 20,000 円

内 容 講演会、懇親会、アトラクション
谷川岳周辺のハイキング

申込み 清家幸三

TEL090-8664-4411 (SMS 可)

締切り 1 か月前まで

— 10 月 —

● 自然保護活動・平尾台

リーダー 横山秀司

期 日 10 月 7 日(土)

集 合 茶ヶ床駐車場(8 時 30 分)

行 程 茶ヶ床～岩山～茶ヶ床

※昨年実施した場所でセイタカアワダチソウの除去
を行います。多くの方の参加をお願いします。

申込み 横山秀司

☒yoko-hideji@ab.auone-net.jp

TEL090-9609-7721

締切り 9 月 25 日(金)

● 月例山行 三瓶山

～テント泊と環状に連なる稜線歩き～

期 日 10 月 14 日(土)～15 日(日)

集 合 小倉南区文化記念公園 9 時 30 分 ・北
の原キャンプ場(現地)

行 程 14 日 テント設営・夕食(全員で準備及び
分担)

● 月例山行 紅葉狩りの祖母山(1,756 ㍎)

期 日 10 月 22 日(日)

集合場所、コース未定

申込み 清家幸三

TEL090-8664-4411 (SMS 可)

締切り 10 月 8 日(日)

● 榎有恒碑前祭

期 日 10 月 29 日(日)

場 所 風師山・風頭記念碑前

内 容 本部役員参加で記念碑前へ山行。
その後、懇親会

会 費 約 5,000 円(懇親会参加者)

締切り 1 か月前まで

— 11 月 —

● 森林保全巡視活動

場 所 尺岳(608 ㍎)

期 日 11 月 4 日(土)

集 合 竜王峡キャンプ場(8 時 30 分)

(集合場所を変更する場合があります)

行 程 キャンプ場～四方越～尺岳～分岐～キャン
プ場

申込み 横山秀司

☒yoko-hideji@ab.auone-net.jp

TEL090-9609-7721

締切り 10 月 22 日(金)

※森林保全巡視員以外の方も参加できます。

● 第 4 回 登山入門講座

「準備完了! さあ山へ!」

日 時 11 月 23 日(祝木) 午前 9 時~午後 3 時

場 所 平尾台

集 合 茶ヶ床 午前 8 時 45 分

申込み 町元里香 TEL090-9572-6939 (SMS
可) ☒yunae.runa@gmail.com

締切り 11 月 9 日(木)

● 月例山行 銚岳・大崩山登山テント泊

期 日 11 月 25 日(土)~26 日(日)

集 合 鹿川キャンプ場(宮崎県)

延岡市街地より 1 時間 20 分 9 時 00 分集合

場 所 銚岳・大崩山

行 程

25 日 キャンプ場発 9 時 15 分~パッケン岩~
銚岳 11:45~12:15~キャンプ場
14:00 (テント泊)26 日 キャンプ場発 6:30~宇土内谷登山口
7:40~大崩山 10:30~登山口 13:00
帰路

個人装備 テント泊装備、日帰り山行装備

申込み 竹本正幸

TEL090-6739-9251

☒takemoto.masayuki@white.plala.or.jp

※申し込みは SMS 又はメールでお願いします。

※移動手段はご相談ください。

締め切り 10 月 25 日(水)

— ポレポレ会山行 —

● 9 月 角島(下関市) 散策 ダルマギク観賞

期 日 9 月 30 日(土)

集 合 道の駅北浦街道豊北 10 時

行 程 道の駅~角島(散策、弁当要)

解散 14 時~15 時

申込み 丹下洽 TEL090-3732-8843

締切り 9 月 16 日(土)

● 10 月 萩往還ウオーク(佐々並~一升谷コー
ス) 約 9 時間

期 日 10 月 21 日(土)

集 合 みとう道の駅

美祢市美東町大田近光 5480-1 9 時

行 程 みとう道の駅~旭総合事務所(萩市明木、

車分乗)~萩市佐々並支所~旭総合事務所

(終点)~萩市佐々並支所(車回収)

徒歩約 4 時間 解散 15 時

申込み 丹下洽 TEL090-3732-8843

締切り 10 月 7 日(土)

● 11 月 十種ヶ峰

期 日 11 月 22 日(水)

集 合 山口県庁駐車場 9 時

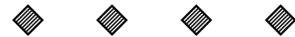
行 程 県庁駐車場~十種ヶ峰青少年センター~山
麓駐車場~十種ヶ峰 往復約 2 時間

時間があれば帰り長門峡散策

解散 14 時 30 分

申込み 丹下洽 TEL090-3732-8843

締切り 11 月 8 日(水)



★★会員の異動状況★★

新入会員 (令和 5 年 1 月~令和 5 年 6 月)

通常会員

- | | | | | |
|---|-------|---------------|------|---------------|
| 1 | 17022 | 折野 道法(築上郡吉富町) | 64 才 | 2023.03.01 入会 |
| 2 | 17031 | 橋川 潤(筑紫野市) | 67 才 | 2023.03.10 入会 |
| 3 | 17126 | 大山 時彦(嘉麻市) | 68 才 | 2023.06.06 入会 |

退会者 (令和 5 年 1 月~令和 5 年 6 月)

通常会員

- | | | |
|---|-------|-----------|
| 1 | 15416 | 歳弘 逸郎(逝去) |
|---|-------|-----------|

支部友

- | | | |
|----|--------|--------------|
| 1 | 北九 536 | 橋川 潤(通常会員へ) |
| 2 | 北九 498 | 山下 香代子 |
| 3 | 北九 537 | 渡辺 弘明 |
| 4 | 北九 495 | 藤井 垣介 |
| 5 | 北九 457 | 米田 教子 |
| 6 | 北九 539 | 赤間 啓史 |
| 7 | 北九 534 | 岡野 勝彦 |
| 8 | 北九 510 | 縄田 恵美子 |
| 9 | 北九 530 | 松岡 文子 |
| 10 | 北九 534 | 大山 時彦(通常会員へ) |

会員数 87 人

(通常会員 57 人、支部友 26 人、準会員 0 人、
会友 4 人) (R05/06/30 現在)

令和5年度 行事・月例山行計画 ※日程に変更があります。

月	日	行事・山行	担当	内 容	実施人数
4	9日(日)	4月月例山行1 香春岳	奥田	岩場練習	12人
	13日(木)	江汐公園宗麟寺ポレポレ山行	縄田	コバノミツバツツジ	6人
	15日(土)	入門講座1(新入会員対象)	町元	オリエンテーション(ルーム)	5人
	15日(土)	第24回通常総会	支部行事		28人
	23日(日)	4月月例山行2 雷山・井原山	三浦	コバノミツバツツジ	8人
5	21日(日)	求菩提山ポレポレ山行	里	ヒメシャガ	9人
	27日(土)	平尾台南部	横山	Geotレッキングとムラサキの監視活動	9人
	28日(日)	5月月例山行 平治岳	縄手	ミヤマキリシマ	中止
6	3日(土)	四王司山都府楼ポレポレ山行	磯野	大宰府史跡巡り	6人
	10日(土)	入門講座2(新入会員対象)	町元、森	支部ルーム(セルフレスキュー・装備・歩行技術)	11人
	11日(日)	6月月例山行 九州オルレ	藤原	大入島オルレ	10人
	18日(日)	岩登り教室	竹本	国見岩	10人
	24日(土)~25日(日)	夏山フェスタin福岡	支部行事		
7	1日(土)~2日(日)	東北北海道地区集会	青森支部	青森支部30周年 青森県八戸	
	2日(日)	入門講座3(新入会員対象)	竹本、清家	支部ルーム(気象・地図読み・ロープワーク)	
	9日(日)	沢登り	竹本(加)		
	16日(日)	7月月例山行 九重	町元	特別山行訓練	
	22日(土)	寂地峡ポレポレ山行	縄田	山口県バスハイク(水遊び)	
8	5日(土)~6日(日)	九州5支部懇談会	東九州	法華院温泉、慰霊碑	
		山の日	支部行事		
9	1日(金)~4日(月)	特別山行	町元	八ヶ岳	
	10日(日)	岩登り教室	竹本	陶が岳	
	17日(日)~18日(祝月)	9月月例山行 韓国岳・高千穂の峰	町元		
	23日(土)~24日(日)	全国支部懇談会	群馬支部	水上温泉、谷川岳	
	30日(土)	角島ポレポレ山行	丹下	山口県 ダルマ菊	
10	7日(土)	平尾台	横山	セイタカアワダチソウの除去(ボランティア)	
	14日(土)~15日(日)	10月月例山行1 三瓶山	竹本(加)	テント泊練習	
		広島支部交流会	支部行事		
	21日(土)	萩往還ポレポレ山行	縄田	ウオーキング	
	22日(日)	10月月例山行2 祖母山	清家	紅葉登山	
	29日(日)	楨有恒碑前祭	支部行事		
11	4日(土)	尺岳	横山	森林巡視活動	
	22日(水)	十種ヶ峰ポレポレ山行	縄田		
	23日(祝木)	入門講座4(新入会員対象)	竹本・清家	平尾台(地図読み実践)	
	25(土)~26(日)	11月月例山行大崩山系	竹本	大崩山と鹿納岳又は銚岳	
12	2日(土)~3日(日)	年次晩餐会	本部行事		
	9日(土)	忘年登山	支部行事		
	9日(土)	忘年の集い	支部行事		
	16日(土)	御所ヶ岳~馬ヶ岳	横山	Geotレッキング	
1	6日(土)	三社参りポレポレ山行	原	甲宗八幡宮、赤間神社	
	13日(土)~14日(日)	1月月例山行 観海アルプス	塚本	辰年の山 バスハイク	
2	3日(土)~4日(日)	2月月例山行1 雪山 伯耆大山	竹本	雪上訓練	
	24日(土)	串山ポレポレ山行	原	山口市秋穂	
	25日(日)	2月月例山行2 岩宇戸山・上福根山	赤瀬	福寿草	
3	3日(日)	3月月例山行1 鹿鳴越連山	藤原	日本山岳遺産	
	17日(日)	入門講座5	縄手・竹本(加)	足立山(テント設営)	
	20日(祝水)	3月月例山行2 岩屋公園	縄手	ゲンカイツツジ	
	28日(木)	白野江公園、部崎灯台ポレポレ山行	丹下	カキ小屋	

※各行事の担当者の連絡先については事務局の清家幸三まで下記までメールかSMSをお願い致します。

メールアドレス qamakd9k@fuga.ocn.ne.jp

携帯電話 090-8664-4411

会務報告 令和5年1月定例役員会議 事務局

日 時：令和5年1月11日(水) 18時より
場 所：北九州支部ルーム
出席者：日向 丹下 竹本 榎 縄田 町元 清塚
塚本 横山 馬場 関口
欠席者：三宅

議 題

- (1) 会員の異動状況 (事務局長報告)
 - ① 新入会員：なし
 - ② 退会者：なし
 ※通常会員：55人 準会員：0人 支部友：36人 会友：4人 合計95人
(R5.01.03)
- (2) 会費納付状況 未納者 (財務委員長報告)
 - ・通常会員：3/55 ・準会員：0/0
 - ・支部友：4/36 ・会友：0/4
- (3) 山行・行事報告
 - ・11月12日(土) プラヒデジ的登山平尾台登山兼監視パトロール 9人
 - ・11月19日(土) 山岳古道求菩提山2回目調査 3人
 - ・11月20日(日) 国東ロングトレイル紅葉登山(バスハイク) 14人
 - ・11月30日(水) 臨時役員会 9人
 - ・12月 3日(土) 本部晚餐会、支部合同会議 5人
 - ・12月10日(土) 忘年の集い 13人
 - ・12月10日(土) 忘年登山許斐山 12人
- (4) 山行・行事計画
 - ・1月22日(日) 難所ヶ滝・三郡山
 - ・1月28日(土)～29日(日) 第4回指導員研修会 2月に日程変更
 - ・2月19日(日) <じゅう「中岳」
 - ・2月23日(木) 英彦山訓練登山 中止
 - ・2月25日(土) 森林保全巡視活動(後期犬鳴山)
 - ・3月 5日(日) 諸塚山(宮崎県) 中止
- (5) ポレポレ会
 - ・11月13日(日) 求菩提山ポレポレ山行 雨のため中止
 - ・1月 7日(土) 門司三社参りポレポレ山行 13人
 - ・2月 4日(土) 高蔵岳ポレポレ山行
 - ・3月24日(金) 火の山ポレポレ山行
- (6) サロン
 - 小倉サロン 日時： 2月 2日(木)
 - 博多サロン 日時： 2月 9日(木)

審議事項

- (1) 次期役員選定について
- (2) 全国山岳古道調査の和手ぬぐい(山岳古道調査会員の配布検討)について
- (3) 日本山岳会北九州支部の規約変更。

審議事項検討結果

- (1) 次期役員選定について

- 次回3月1日までに案を作成し役員会で審議する。
- (2) 全国山岳古道調査の和手ぬぐい(山岳古道調査会員の配布検討)について
30枚本部より購入する。配布については古道調査した会員に配布予定。
 - (3) 規約変更(案)は次回以降の役員会で審議。

※ 次回役員会 令和5年3月1日(水)
18:00～ 予定

会務報告 令和5年3月定例役員会議 事務局

日 時：令和5年3月1日(水) 18時より
場 所：北九州支部ルーム
出席者：日向 丹下 竹本 榎 縄田 町元 清家
塚本 横山 馬場 関口
欠席者：三宅

議 題

- (1) 会員の異動状況 (事務局長報告)
 - ① 新入会員
 - ・通常会員：17031 橋川 潤
2023.03.03 入会(支部友)
 - ② 退会者
 - ・支部友：北九498 山下 香代子
(2023.03.31) 退会
 - 北九537 渡辺 弘明
(2023.03.31) 退会
 - 北九495 藤井 垣介
(2023.03.31) 退会
 - 北九457 米田 教子
(2023.03.31) 退会
 - 北九539 赤間 啓史
(2023.03.31) 退会
- ※ 通常会員：57人 準会員：0人 支部友：30人 会友：4人 合計91人
(R5.03.31)

(2) 会費納付状況 未納者 (財務委員長報告)

- ・通常会員：3/57 ・準会員：0/0
- ・支部友：3/30 ・会友：0/4

(3) 山行・行事報告

- ・1月22日(日) 難所ヶ滝・三郡山 4人
- ・2月12日(日) 第4回指導員研修会 5人
- ・2月19日(日) <じゅう「中岳」 中止
- ・2月23日(木) 英彦山訓練登山 中止
- ・2月25日(土) 森林保全巡視活動(後期犬鳴山) 中止
- ・3月12日(日) 諸塚山(宮崎県) 中止

(4) 山行・行事計画 未定

(5) ポレポレ会 未定

(6) サロン

- 小倉サロン 日時： 未定
- 博多サロン 日時： 未定

審議事項

- (1) 次期役員選定について
- (2) 総会資料内容検討

審議事項検討結果

- (1) 次期役員選定について

- 役員会で審議した結果を総会提出する。
 (2) 役員会で審議した結果を3月15日(水)18時より三役会で最終審査して総会資料とする。
 (3) 次回役員会は総会終了後の新役員で決定する。

※ 次回役員会 令和5年5月10日(水)
 18:00~ 予定

会務報告
令和5年5月定例役員会議
事務局

日 時：令和5年5月18日(木)13時より
 場 所：北九州支部ルーム
 出席者：竹本 榊 横山 縄田 馬場 町元 橋川 清家

会議次第

- I 竹本支部長挨拶
 新支部長の取り組みについて、「これまで培ってきた経験を後から入る人へ伝えていく。そして公益法人としての事業を推進する。さらに山岳遭難を防ぐための対策を山の講座を実施しながら基本から改革を進めて、楽しいクラブライフにしていく」旨の抱負を語られた。
- II 議題
- (1) 幼稚園児「風頭ハイキング」サポートの件(5月19日)雨で中止。
 - (2) 「入会のご案内」パンフレット作成
 - ・1,000部を用意する。後は写真の選定をして早急に作成に取り掛かるが先ずは見積りをとる。
 - (3) 門司区役所への挨拶と連絡先(事務局長)
 - ・名刺が出来次第訪問。
 - (4) 九州5支部懇の参加申込
 - ・当初の15人の参加で申し込んでいたが詳細については東九州支部へ確認する。
 - (5) 役員の仕事・組織図について
 - ・総務委員の一部未決定。
 - (6) 古道調査の進捗状況
 - ・榊副支部長より求菩提山の6割程度を残している状況の報告。
 - (7) 山岳祭(榎有恒碑前祭)補助金について
 - ・本部より2万円決定。経費に充当する。
 - (8) 登山計画書の提出先について
 - ・先ず作成者から町元山行委員長(安全対策委員会)へ。その後、事務局長から本部の遭難対策委員会へ送る。
 - (9) 支部報の発行について
 - ・5月、9月、1月の年3回発行とする。支部から本部へのメールは広報から出来ないか。アーカイブ作成も含めて榊副支部長に協力を依頼する。
 - (10) 本部支部の行事のお知らせ
 - ・ホームページから発信する方針を含め今後の検討課題とする。
 - (11) 遭難対策の連絡網について
 - ・支部山行及び行事と個人山行に関して再確認。
 - ・連絡網は先ず留守本部へ。その後、事務局経由で安全対策委員会へ連絡する。
 - (12) 新入会員の参加を促進する仕組み作り
 - ・登山入門講座や小倉サロンへの参加を促す。
 - (13) 山行及び行事計画の結果は年間行事・月例山行計画表を会議資料として共有活用する。
 - ・支部報にも活用する。 ※18頁参照

- (14) 会員の入会、退会等は会計も含めて異動時のみ報告する。
 ・会員数 通常会員57人 支部友29人
 会友4人 計90人 (5月18日現在)
 ・会費未納者 通常会員11人 支部友13人
 会友4人 計28人 (5月18日現在)
- (15) 月例山行等の資料代について
 ・下見等費用として参加者より500円徴収する。(6月より)

※ 次回の役員会 令和5年7月20日(木)
 13時00分~ リモート会議

〈お知らせ〉 サロンの開催

- 小倉サロン
 期日 8月24日(木)17時30分から
 場所 居酒屋「コールド」
 会費 3,500円
 内容 暑気払いウクレレ演奏会
- 小倉サロン
 期日 10月12日(木)17時30分から
 場所 居酒屋「コールド」
 会費 3,500円
 内容 ビデオ鑑賞と山行の情報交換
 ※参加者は清家幸三までTel090-8664-4411
 又はSMSにて1週間前までにご連絡ください。
- 博多サロン
 期日 8月9日(水)18時30分から
 場所 アサヒビール園 博多店
 福岡市博多区竹下3-2-19
 Tel 092-482-7861
 会費 4,900円程度(食べ飲み放題付)
 締切 8月2日(水)
- 博多サロン
 期日 11月9日(木)18時30分から
 場所 博多つつじ庵 福岡市博多区博多駅前
 3-4-8 サットンプレイスホテル博多B1階
 Tel 092-474-2241
 会費 5,000円程度(コース料理飲み放題付)
 締切 11月2日(木)
 ※博多サロンの申し込みは三浦利夫まで。
 携帯 090-2850-6020
 ✉ homan.miura@gmail.com
 ※博多サロンの当日参加、当日キャンセルは不可とさせていただきますので、ご了承下さい。

編集後記

令和4年の山岳遭難は過去最多だったそうで、コロナ禍で閉鎖されていた山小屋、登山道が再開されたことが影響したとみられている。スマホで簡単に救助要請ができるようになったのも一因かも知れない。近年、山の道具が高機能化し、便利なSNSが普及しているが、山登りの基礎はいつになっても身につけておかなければならない。本支部の登山入門講座を受け改めてそう思った。本号から支部報の編集を担当することとなった。皆様の叱咤激励をお願いします。 J.H.